

平成21年4月13日

新宿区長

法人名 NPO 法人ホロコースト教育資料センター  
 所在地 新宿区大京町 22-1 HAKUYOH ビル 6 階  
 （フリガナ）イシオカ フミコ  
 代表者氏名 石岡 史子

## 事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

### 1 助成対象事業

事業名	舞台「ハンナのかばん」公演
実施日時又は期間	2009年3月22日（日）午後3時と6時
対象者の範囲及び人数	新宿区内および都内近郊の小中学生、高校生、および先生、保護者
事業内容	当NPO法人が学校を対象に行ってきた命の授業「ハンナのかばん」の物語を、舞台芸術を通して多くの子どもたちに伝え、豊かな心を養ってもらおう。ホロコーストで亡くなった一人の少女の生涯から、差別や偏見の愚かさ、命と人権の尊さ、生きる勇気について考えてもらう。
具体的な活動状況	2008年7月 劇団との打ち合わせ 脚本監修 2008年8月以降 新宿区内および都内近郊に広報 （チラシ、ニュースレター、ホームページにて） 2009年10月以降 パネル、掲示物の作成 2009年1月 劇団の舞台制作・演出に監修として参加 2009年3月22日 舞台公演とパネル展示
事業の成果	平成17、18、19年度を通して、新宿区協働推進基金の助成を受け、「ハンナのかばん」を紹介する事業を継続して行ってまいりました。広く小中学生、高校生、保護者、教職員の方々から、命の尊さを身近に感じる教材として評価をいただきました。四事業年度を迎える今年度は、これまでと異なる「舞台芸術」という媒体を通して、この物語をより多くの皆さんに伝え、身近に感じていただく機会となりました。一人ひとり命と人権、多様性が尊重される新宿の町づくりにいかに貢献することができたものと考えております。

## 2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収 入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額
	団体負担金			138,306 円
	参加費・資料代等	チケット代 大人 96 名 中高生 17 名 小学生 29 名 (明細別添 )		383,400 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		130,000 円
	計			651,706 円
支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳 ）	費 目	決算額	内 訳	
	会議費	30,300 円	会場費(牛込笹笥地域センター) (領収書別添 ) -2/11 下見(コンドル夜間 2,500 円) -3/21 設営(コンドル午後と夜間 9,000 円) (つつじ午後 800 円) (バラ B 夜間 2,000 円) -3/22 公演(コンドル全日 9,900 円) (バラ A 全日 3,900 円) (つつじ全日 2,200 円)	
	宣伝費	143,681 円	チラシの印刷 2000 枚 (49,263 円)(領収書別添 ) チラシの発送 (74,180 円) (明細・領収書別添 ) その他宣伝のための材料費 (20,238 円) (明細・領収書別添 )	
	消耗品費	31,067 円	プリンタートナー他 (領収書別添 )	
	材料費	12,918 円	雑巾、USB 他(明細別添 )	
	交通費	50,340 円	劇団銅鑼との打ち合わせ他(明細・領収書別添 )	
	その他諸経費	383,400 円	劇団銅鑼へ経費支払い (明細・領収書別添 )	
	助成対象事業費（小計）	651,706 円		
余 剰 金	0 円			
助成対象外事業費	0 円			
事 業 総 額		651,706 円		

### 3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	舞台は午後 3 時の回、午後 6 時の回ともに満席となり(総数 142 名) 子どもから大人まで多くの方に見ていただくことができました。舞台の前後の時間に開催した「ハンナのかばん」とパネルの展示会も盛況でわかりやすかったと好評でした。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	区内の新宿子ども劇場から、たくさんの親子が見に来てくれました。地域の皆さんと協力し合って子どもたちの豊かな心を育む事業にとりくむことができたことは大きな成果でした。舞台を見てくださった方がまた、家庭や学校、地域でお話を広めてくださると願っています。
新たに気づいた課題は何か。	今事業には地域センターを利用させていただきましたが、NPO の行う事業と地域センターの利用に関する制度が合わないことに少しとまどいを感じました。NPO は自ら収益を生み出して区民の利益のために事業を行うものであることを、さらに広く理解してもらえるよう努めたいと思っています。
理解者や支援者が広がったか。	新宿子ども劇場では舞台鑑賞を深めるため、事前学習として、「ハンナのかばん」お話会(どなたでも参加可)を地域で企画してくださいました。ハンナのかばんの物語とセンターの活動が、舞台やお話会を通して少しずつ地域に広がり、理解を得ていることを感じました。
事務局の執行体制は十分だったか。	事務局スタッフ 2 名、ボランティア 8 名により、劇団との打ち合わせ、広報の発送作業、パネル展示の企画と作成、当日の展示会準備や案内誘導などを行いました。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	新宿区で「ハンナのかばん」お話会を定期的で開催し、子どもたちから大人まで、より多くの方々にこのお話を通して、命と人権の尊さを知ってもらい、ともに学びたいと思います。
その他	<p>当方の不注意から牛込笹筥地域センター「コンドル」の床に傷をつけてしまい多大なるご迷惑をおかけいたしました。深く反省し、今後、公共の施設にこのような破損をすることがないように更に注意してまいります。</p> <p>舞台の製作の過程では、海外のスタッフ(イスラエルより演出、美術、音楽)との交流もあり、国境や文化を越えて関わっていくことの大切さ</p>

	<p>を感じました。日本と海外のスタッフが様々な違いを議論しながら出来上がった内容の濃い舞台作品を新宿で上演し、区民のみなさんに見ていただけたことは今後の活動にとって大きな学びとなりました。</p>
--	---

#### 4 活動の成果

\* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。  
\* 参加者の意見なども報告してください。

以下を添付します

##### 報道

2009年1月21日 読売新聞  
2009年2月8日 毎日新聞  
2009年2月22日 毎日新聞  
2009年3月11日 テレビ東京「すなっぷ」

舞台公演会場での展示会の様子など

劇団銅鑼公演「ハンナのかばん」のチラシ

劇団銅鑼公演「ハンナのかばん」プログラム (来場者へ配布)

舞台をご覧になった方の感想

その他の広報資料